

# “働くママ”なら真駒内

～札幌都心の玄関口で、自然環境・芸術に溢れる真駒内。この街を少し工夫することで“働くママ”とその家族に最適な“故郷”(真駒内)にチェンジ！～

## 1. コンセプト

都市と自然の間に位置する真駒内。冬季オリンピックが開催され、集合住宅にたくさんの家族が集まり、にぎわいを見せた真駒内。年間数十万人が訪れる観光施設を保有する真駒内。この街には、「住みよい環境が既に」揃っている」とわたしたちは考えました。

問題は、どの街も抱える共通の課題です。少子高齢化を最大の課題として、街からにぎわいが消えつつあります。対策は子供を持つ若い世代に勇気をもって引越してもらうこと。今の生活よりも、もっとよい生活が送れること。またよい生活が送れることをわかってもらうこと。わたしたちは子供をもつ若い世代、中でも生活を支える影の大黒柱“働くママ”について考えることにしました。

わたしたちは“働くママ”にスポットあて、ママと共に生活を支えるパパ、そしておじいちゃんとおばあちゃん。みんなが社会で活躍する街。そして、そんなカッコいい大人を見ながら子供たちが育つ街をめざしました。**自然や芸術という真駒内らしさに、最新のネット技術や自然エネルギーという日本の技術を取り入れ、経済的にも自立する街を提案します。**

## 2. 駅前地区の“生活を支える”工夫

### (1) 働くママの“お洒落な”環境整備

#### 【ママの困りごと】

働くママの困りごとは「時間の問題」「子育ての問題」です。従来生活では、働くのはパパ。子育てはママ。それぞれの場所は遠くても問題になりませんでした。

#### 【アーケードで囲まれたコンパクトシティ】工夫-1

働くママは仕事と子育てを両立しなければなりません。わたしたちは、職場と子育ての場を一つの街に集約することを考えました。それもお洒落にコンパクト化します。カラー舗装とアーケードにより、雨の日も汚れずお洒落に決める街。日よけ傘も不要で両手を自由に使える街。雨が降っても、子供が泣いても、携帯が鳴っても、両手を使いながらお洒落に街を歩きます。

#### 【職場と保育所と複合施設に集約】工夫-2

駅前の公共施設(旧真駒内緑小学校)を複合施設にリフォームします。1Fを医療や保育施設とすることで子供の送り迎えに要する時間をゼロにします。職場は3Fや4Fです。工夫3、保育費医療費を安くするなどの誘致施策により、複合施設に働く職場を誘致します。



図-1 アーケードイメージ

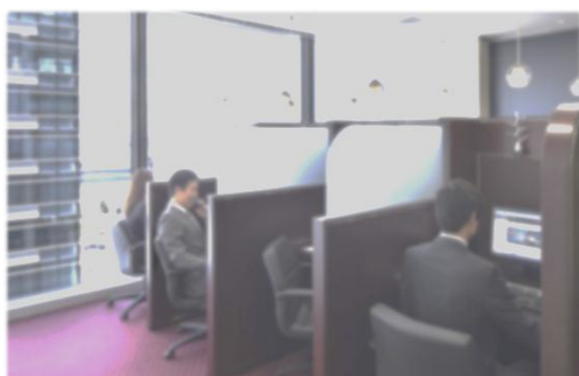


図-2 サテライトオフィス

### (2) 仕事パパも育児パパも困らないCOOLな施設

#### 【駅前サテライトオフィス】工夫-3

一家を支えるパパの活躍は不可欠です。仕事で各地を飛び回るパパ。育児と仕事を両立する器用なパパ。夏場だけ北海道に帰ってくるパパ。新時代の耐様なスタイルに相応しいマルチハビテーション(生活の拠点が複数あること)に対応した環境を提案します。駅前の複合施設内にサテライトオフィスを設け、ネット環境での職場空間を提供します。クールなパパの生活拠点は、真駒内に留まりません！

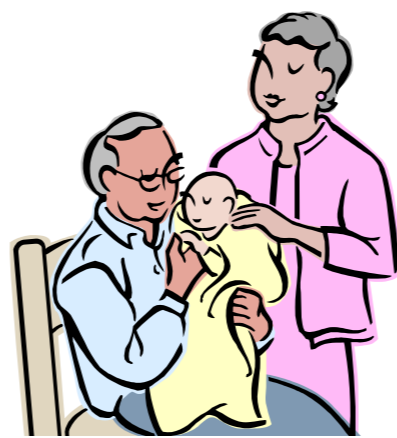


図-3 ボランティアによる保育

### (3) 大活躍のおじいちゃんとおばあちゃん

#### 【高齢化の現実】

真駒内でも、他の街と同じように高齢化が進んでいます。団塊の世代の退職問題です。しかし、視点を変えるとこれはメリット。元気でボランティア精神あふれる団塊の世代には、これからもますます活躍してもらわなければなりません。

#### 【医療施設の利用と保育サービスの提供】工夫-2

複合施設の保育所の横に医療施設を整備します。おじいちゃんとおばあちゃんに、ボランティアとして保育所で働いてもらうことで、低価格な保育サポートを実現します。一方で、医療施設は他よりも安く利用していただく。若い世代と年配の世代が相互に必要なコミュニティを提案します。

### (4) 経済的自立こそ“イケてる”街の大前提

経済的な自立は街の必要条件です。例えば電気代収入を基軸に、企業の誘致を推進し、街全体で経済効果を生み出します。例えば複合施設の屋上などを活用して、ソーラーパネルを設置した場合、以下のような経済効果を試算することができます。小規模ではありますが、2000万円の先行投資を10年強で回収します。投資効果は自家発電に加え、環境配慮、誘致企業への電力無料化など。蓄電技術を利用することで全天候型へのバージョンアップも期待できます。

発電量:真駒内中学校・真駒内緑小学校屋上利用のケースについて	
(1) 月当たり必要発電量の算出	(2) 発電規模の算出
1) 建物面積 合計5500㎡(地図計測による)	太陽光発電: 253kw発電能力
真駒内中学校屋上 2700㎡	753 x 1,000 = 753,000 kwh
真駒内緑小学校屋上 2800㎡	合計 753,000 kwh
2) 1kw発電に必要な面積は7.3㎡(調べによる)	
・屋上での発電量は753kw(5500÷7.3㎡/kw=753kw)	
(3) 支出	(4) 収入
①建設費の算出	③売電金額の算出
太陽光発電: 253kw発電能力	売電 太陽光発電所: 253kw
25 x 753 = 18,825 万円	32 x 753,000 = 2,410 万円
②年間の維持管理費の算出	
維持費 太陽光発電所: 253kw	
1 x 753 = 753 万円	

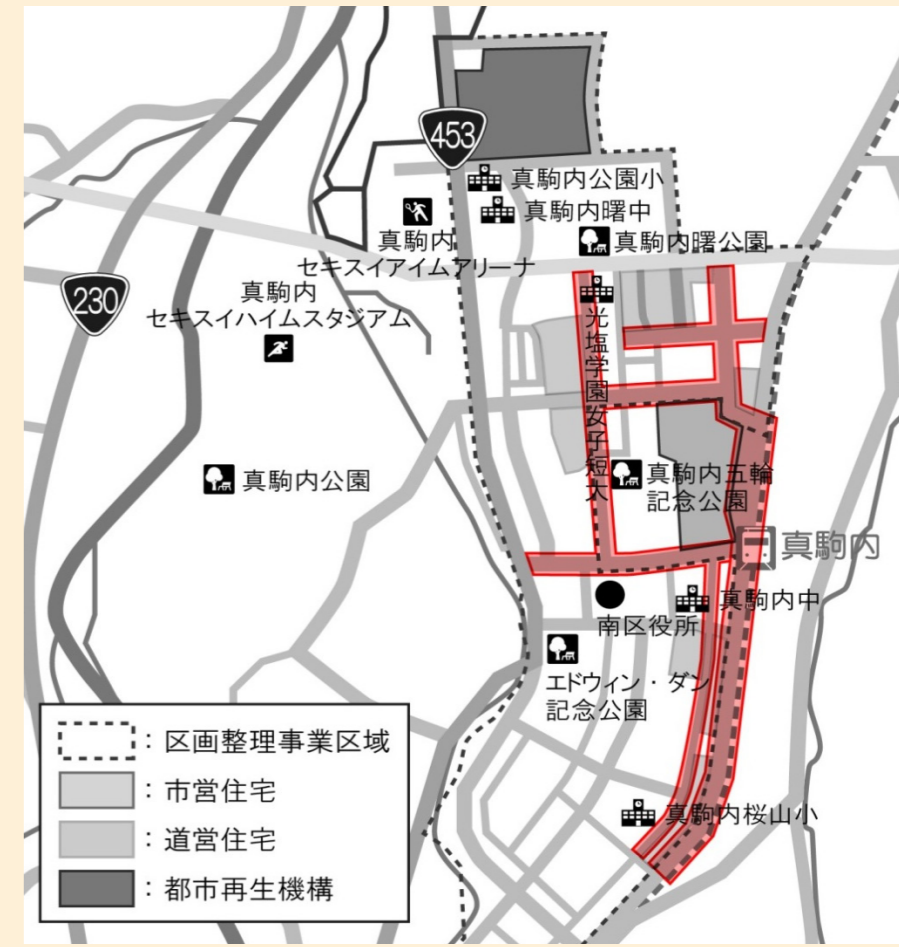
(5) 損益表				
年次	建設費	維持管理費	収益	損益
1	18,825	753	2,410	-17,168
2	17,168	753	2,410	-15,512
3	15,512	753	2,410	-13,855
4	13,855	753	2,410	-12,199
5	12,199	753	2,410	-10,542
6	10,542	753	2,410	-8,885
7	8,885	753	2,410	-7,229
8	7,229	753	2,410	-5,572
9	5,572	753	2,410	-3,916
10	3,916	753	2,410	-2,259
11	2,259	753	2,410	-602
12	602	753	2,410	1,054
13	-1,054	753	2,410	2,711

### 工夫-1 アーケードで囲まれた大きな家(コンパクトシティ)

駅前地区は働くママが活動する大きな家。わたしたちがイメージするアーケードは、より家族的な、そしてより公共性の強い空間です。

並ばない公共トイレ(複数のトイレ)や、休める公共スペース。携帯や車の充電やWiFiなど、自転車や乳母車、買いものカゴのレンタル。日本が誇る最新の技術も集約させます。

右図に示すのは、アーケードを整備する範囲(案)です。駅前通りをメイン通りとし、メイン通りには工夫2で提案する複合施設のほか、お洒落(カフェ・ファッション・スーパー)な店が並びます。住宅施設前を全てアーケード化することで、“街全体を家にチェンジ”



### 工夫-2 真駒内中学校, 旧真駒内緑小学校を複合施設にチェンジ

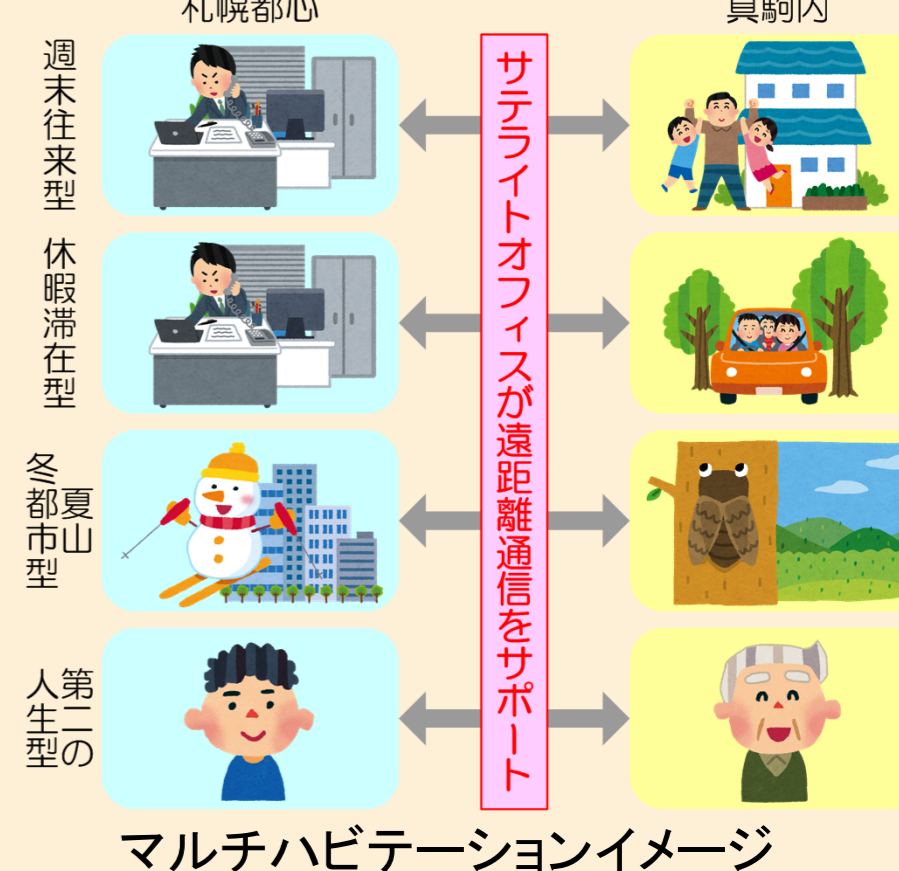


### 工夫-3 マルチハビテーションな生活に対応するサテライトオフィス

グローバルな世界では、働く場所は大きな問題ではありません。生活拠点は家族を最優先。パパは仕事ができる環境さえあれば、どこでも生活できるのではないかと。わたしたちはそんなパパの生活を考えました。

1週間のうち真駒内と札幌を往復する仕事環境。月ごとに拠点を交える仕事環境(例えば東京と北海道)。子供の成長に合わせて拠点を交える仕事環境etc。COOLなパパを支える設備は、真駒内にいながらビジネスができる環境。

“充実したサテライトオフィスを提供します”



## 3. 自然と芸術(北海道らしさ)を取り込み“にぎわい”の創造

### 【街全体を道の駅に! ?】工夫-4

わたしたちは、南区周辺にだけ道の駅がないことに着目しました。真駒内公園や芸術の森(年間来場者数40万人)、すすらん丘陵公園(年間来場者数60万人)など南区を訪れる人は既にたくさんいます。以下に説明する既存の観光資源少し工夫することで、これらの観光客を真駒内に取り込み、新たな“にぎわい”を想像します

#### (1) すすらん丘陵公園との連携

滝のすすらん公園は、自然植物、バーベキューにキャンプ。宿泊施設が充実しています。「真駒内駅前住宅の住民に施設利用券を配布」や「公園利用者は真駒内駅前施設の利用券を配布」などのソフト対策により、相互の連携を強化。南区全体の道の駅。待ち合わせ場所としての機能を強化します！

#### (2) 真駒内公園、芸術の森との連携

真駒内公園や芸術の森ではイベントやコンサート、野外活動、アトリエなどが集まる企画が既に行われています。「学校の野外活動としての実施」や「真駒内からの無料シャトルバス」「真駒内施設利用者への割引券配布」などなど、連携を強化することで、真駒内のにぎわいを強化します。

#### (3) 新たな観光資源・ブランド野菜を提案

札幌と言えば農産物。真駒内といえばブランド野菜。南区には既に小松菜、青梗菜、キュウリ、イチゴと言ったブランド野菜が豊富です。広報と販売力。真駒内道の駅を活用することでイメージ強化につなげます！

#### (4) 公園を民間経営に!

PPPやPFI、公共施設の民営化など、近年民間活力を利用した取り組みが実施されています。公園を民営化することで、これまでできなかった企画を実現し、真駒内ににぎわいを取り戻す起爆剤とするのはどうでしょうか。



図-4 南区周辺の道の駅(google mapより)

### 工夫-4 真駒内駅前地区全体を道の駅に!

真駒内駅前地区の旧真駒内小学校校庭を駐車場に更新します。さらに、子供が遊ぶ遊具を作ることでママの街。真駒内らしさも演出します。※アーケード内は歩行者天国とし、現道路のスペースを活用します。

